

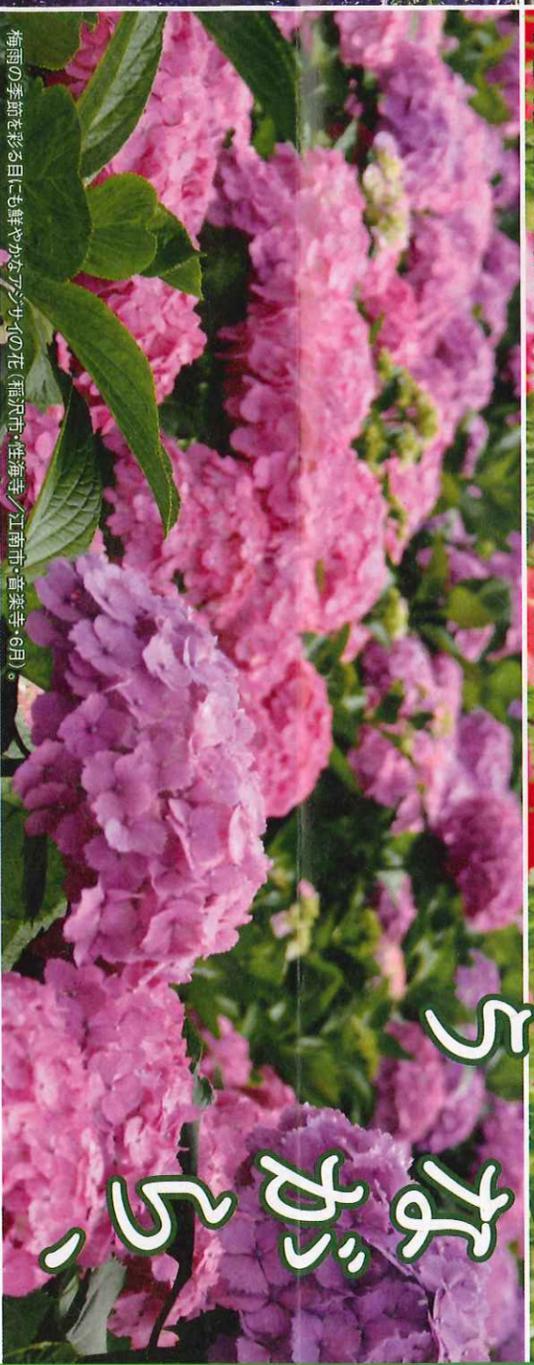
季節の花々に出会おう



彩り豊かな花々を眺めていると、なせか心もうきうきしてくる。(一宮市・188ダワーパーク・4月)。



サクラ貝物とともに木曾川沿いの散策もまた楽しい。(伊奈町・木曾川緑地公園・4月上旬)。



梅雨の季節を彩る目にも鮮やかなアジサイの花。(稲沢市・性海寺／江南市・音楽寺・6月)。

この季節、一宮市・138ダワーパークでは園内でチリツブ、ネモフィラ、リカラクサ、ホビーなど春の花々が咲き誇ります。また各務原市や犬山市の東海自然歩道沿いなどで見られるのが淡い白色の花をつけるシネゴシキ花

期は3〜4月、白い花が咲くコハナガエズミ(花期は4〜6月)などの山野草や低木。花を探しつつ散策するには絶好の季節です。

5月に入るとツツジ、カキツバタが咲き始めます。新緑の中でツツジの花を見かけるのもこの頃。ツツジの名所も各地にありま

ら四方に枝が伸びる羽島市・竹鼻別院、江南市・曼陀羅寺はツツジのほかボタン、ツバタゴ(別名なんじやもんじや)があげられます。本州では木曾川中流域のみに自生し、5月半ばに白い花が樹木全体を覆うように咲きます。自生地では犬山市の池野西洞、植樹では一宮市の円林寺や浅野公園など知られています。

5月下旬はハナシロウ、梅雨入りした6月はアジサイが開花期を迎えます。円空仏(十二神将像ほか)を保存、展示している江南市・音楽寺、また境内に遺跡がある稲沢市・性海寺はアジサイ寺として知られています。梅雨の季節、雨に打たれるアジサイは「層鮮やかで趣が感じられます。

さて、温かな春の日差しはのなか、あなたはこの花巡りに出かけますか。

春爛漫

花のイベント情報

一宮市

桜まつり

期間／3月25日〜4月10日

内容／大江川緑道(大乗公園)・須ヶ崎橋、青木川、浅井山公園、種荷公園、木曾川堤、尾留緑道で行われる春の行事。くに大江川緑道は夜ライトアップされ幻想的。4月第1日曜には「ミセタ」ミク織物によるイベントも。

つじ祭

期間／4月29日・30日

内容／浅野公園内には色とりどりの1000株のツツジが植栽され、4月下旬〜5月上旬に見事な花を咲かせる。

花しょうぶ祭

期間／6月9日・10日

内容／菟菜公園高級分園には38種類の約1700株のフナシロウが植えられている。5月下旬〜6月中旬が開花期。

屋敷あじさいまつり

期間／6月9日・10日

内容／御養ひ神社に咲き誇るアジサイを堪能でき、ほかには抹茶の野良民謡・講和太鼓などの演奏が行なわれる。

犬山市

犬山お城まつり

期間／3月24日〜4月8日(大山祭は4月7日・8日)

内容／サクラが咲く犬山城とその周辺で行われる。とくに国指定重要無形民俗文化財の大山祭では、13艘の重山が城下町を昼夜繰り歩く。

問合せ先／犬山観光案内所 0568-61-6000



桃太郎公園 さくら祭り

期間／桜の開花時より2週間

(平成19年は4月1日〜15日開催)

内容／桃太郎公園にはメイズミを中心に四季桜、じだん桜、山桜など約500本の桜がある。桃太郎神社参道、社下公園で21時までライトアップされ夜桜を楽しめる。

問合せ先／豊橋桃太郎祭典展覧会(加田雄輔)

0568-61-1576

江南市

櫻まつり

期間／4月14日・15日

内容／市民の憩いの場である曼陀羅寺公園が開かれる。よまこい踊り大会、戦国武将行列など催しも多い。



問合せ先／江南市産業観光課

0587-54-1111

花咲くところに、人々との触れ合いがある

人々の目を惹きつけてくれる春の花々。その樹木や草花を育てるためには、日頃の世話や手入れも欠かせません。

各務原市・新境川堤では、春には百十郎桜が満開となり、毎年見事な桜並木が観賞できます。現在堤防沿いにあるのはメイトピアなど1300本ほど。この桜並木を守るのが平成14年に結成された「百十郎桜保全ボランティア」(代表中村昇さん/会員約35名)です。副代表の黒柳さん(72)はこう話します。



冬場にも枯れた枝などの手入れに余念がない(百十郎桜保全ボランティア)。



百十郎桜保全ボランティアの副代表の黒柳さんは「皆さん花やサクラが大好きで、地元の名所を守ろうと、意欲満ちた作業に取り組みんでいますよ」と笑顔で話す。

「4年前から観賞用のハナシロウを休耕田に植え始めた大山市栗瀬地区。5月下旬になると紫や白い花が一面に咲き、ハナシロウの新名所となりつつあります。5500㎡の田んぼに植えられているのは25種類、約1万4千株。花つくりを始めた栗瀬トラフトラフでは株分けした球根の植え付け・除草・施肥などに総勢約60名のメンバーが取り組んでいます。」

「地元からの参加だけでは人手が足りず、花つくり応援隊を募り、市内だけでなく、岩倉など市外からの参加もあります。作業とは別に観望もあって、これも楽しみなんですよ(笑)」と話す代表の土屋盛良さん54。開花期の週末には抹茶をふるまったり、切り花や野菜を販売したり。観賞する人々の笑顔がメンバーたちの原動力でもあるようです。



冬場はそれとは分らないが、春になると一面に葉が伸び始める。



「昨年は開花期を通じて1万3000人ほどの見物客が来られました」と話す栗瀬トラフトラフ代表・土屋さん。



梅田三喜が地元の地元の見事な白い花が咲き白く染まる。この地方の春の風物詩でもある(大山市・栗瀬地区・5月中旬)。



ハナシロウの新名所として知名度が上がり、朝早くからサクラを鑑賞する人々の姿も見られる(大山市・栗瀬地区・5月下旬～6月上旬)。



樹上から見事な咲き、風にゆらめく藤菜のフジ(江南市・雲龍院・羅寺/羽島市・竹鼻別院・4月下旬～5月上旬)。



百十郎桜は、地元のびんごに守られながら、見事な花を咲かせる(各務原市・新境川堤・4月上旬)。

「チューリップ」 岐南町石原瀬地区



石原瀬地区のチューリップ栽培を、毎年楽しみ続けている地域住民も多い。



「1月下旬、大地から脚を出したチューリップの小さな芽。『チューリップの後は、サルビアなども植えたいですね』と石原瀬花友会の松原さん。

規模は小さくても、町で毎年花を栽培して地域に潤いを与えている例もあります。岐南町石原瀬にある町道沿いの畑では、石原瀬花友会会長上條正雄さんが近所の観賞用にとチューリップを栽培し始めて、すでに15～16年になります。

「以前はもっと広い畑を借りて花を栽培していた町内の行事で花を観賞しながらハサミを削いたこともありましてと会員の松原秀安さん(61)は話します。現在規模は縮小しましたが、1000球を植え付け、4月下旬頃になると赤い花を咲かせるとか。花が終わった後球根は近所の人たちに無料で配り、そうす。畑に面した道路は散歩コースでもあり、「今年もきれいに咲いたねえ」と話す道行く人たちの声があふく」と松原さんは言います。

「フジの花」 羽島市竹鼻別院



冬の間はひと乾燥するため、藤棚に登り、栄養剤を散布する。



「今の苦労が3年後、5年後の美しいフジの花を咲かせるんです」とフジの花への愛情がこもった目で話す榎さん。

羽島市の竹鼻別院。ここで美しい薄紫色の花を咲かせるのは、天然記念物にも指定されている樹齢300年のフジの花。ここには20年前から組織された「竹鼻別院フジを守る会」がフジの手入れを続けています。会長の榎さんと(73)にお話をうかがいました。「もともと苦勞するのは、花が咲いた後の花が小粒になるので、実がなる前に花殻を切っておくんです。去年は地元企業の協力もあり、順調に手入れ作業が行えたとです。

「フジの花は見るだけでなく、香りも楽しめる。花を愛する人たちに、樹齢300年を超えるフジの老木に対しても、手抜きはできません。」(榎さん)。

花のあるところに、それを育てる人たちの思いも息づいています。

あじさい祭り

期間/6月2日/30日
内容/喜楽寺では40種類1200本のアジサイが咲かれます。期間中はカラオケ大会や生大会や空仏特別拝観などが催される。
連絡先/坪内紀
☎0587・544・555



稲沢まつり

期間/4月1日/8日/イベントは8日開催
内容/国府宮神社の参道の桜の下で奉賛委員会主催の大会などのイベントが催される。夜にはサクラのライトアップも楽しめる。
問合せ先/桜まつり実行委員会(稲沢市立運動場) ☎0587・210502

平和さくらまつり

期間/ライオンまつりは4月1日/下旬
メイン行事は7日開催
内容/日赤川桜堤小公園で行われるイベント。歌謡ライブ、抽選会があり、飲食屋台も出店される。約2本のサクラの木があり、4月上旬まで楽しめる。
問合せ先/平和さくらまつり実行委員会事務局(平和町) ☎0567・460031



稲沢あじさいまつり

期間/6月1日/7日/メイン行事は9/10日に開催
内容/大塚姓海寺歴史公園で毎年開かれる。約90種1万株におよぶアジサイ花畑のほか、冬連発など重要文化財を見学できる。シヤトル大会も連行。
問合せ先/あじさいまつり実行委員会事務局(西工) ☎0587・3211111

各務原市

期間/3月31日/4月15日
内容/新境川市民公園で行われる市民参加型の大イベント「メイン行事」20万人の広場(4月7日・8日開催)では、ミニかみかみ大会や発表大会、パレードの先頭を飾る。特産品販売のほか、屋台、ミニ発表大会など盛りだくさん。
問合せ先/観光交流 ☎058・383・925

羽島市

期間/4月中旬/5月上旬
内容/竹鼻別院のフジ園指定天然記念物。本から東西30m、南北15mの枝がひびく巨大期間中は茶席や機織りなど催しは多。山車が民かたの観覧客にうき。山車も重なり、観覧客も多。月3日も重なり、観覧客も多。
問合せ先/羽島市観光協会(西工) ☎058・392・1111



笠松町

期間/3月下旬/4月15日
内容/桜まつり、宵まつり、本まつりを開催。桜まつりでは奈良漬の桜ライトアップも。
問合せ先/笠松町役場環境経済課 ☎058・388・1114
☎058・388・2566



木曾川フットボールジョーン

国土交通省木曾川上流河川事務所ホームページ
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojiyo/index.html>
 国土交通省木曾川上流河川事務所 河川公園課 TEL 056-271-1379

たくさんのご意見ありがとうございました。詳細につきましては木曾川上流河川事務所HPにてご確認ください。

江南花卉園芸公園の愛称が決定しました!!

国営木曾三川公園で今年秋に開園予定の江南花卉園芸公園では、利用者に親しんでいただけるよう平成19年1月17日～2月14日(4週間)までの期間に皆様より愛称を募集いたしました。その結果を下記のとおりお知らせします。

応募件数 701点 なお、応募者数は、352人でした。特に応募の多かった愛称名は、

- ① 「フラーパーク江南」……………9点
- ② 「江南フラーパーク」……………6点
- ③ 「クリスタルフラーパーク」……………5点
- ④ 「はなとびあ江南」……………5点

この結果を踏まえて行政担当者、花卉園芸組合長、ボランティア団体会長による選定委員会を開催し、「フラーパーク江南」に決定しました。今後は、この愛称で公園をかわいがってください。

三派川地区情報サイト ブログも公開中!

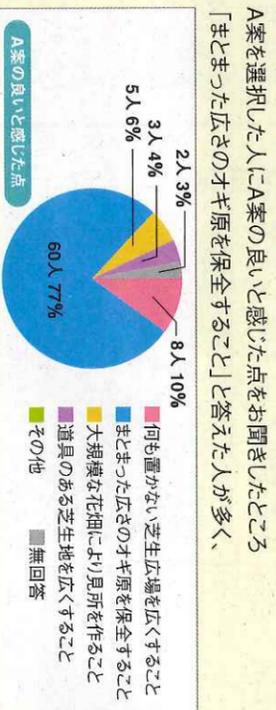
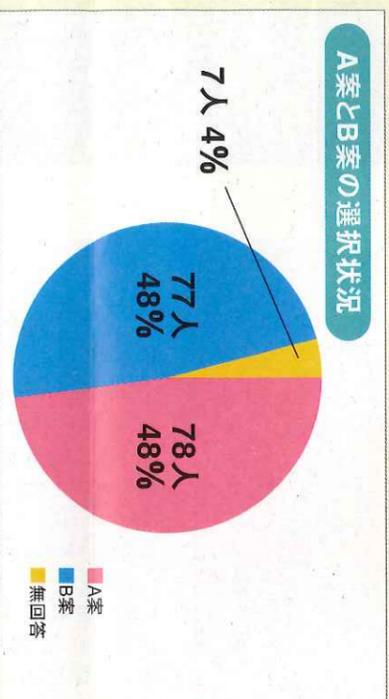
木曾川上流河川事務所のHPサイトでは、三派川地区情報サイトを設置いたしております。これは、国営木曾三川公園三派川地区とその周辺9市町における地域の観光情報やお薦めモデルコース、季節のイベントなど、様々な情報を提供しています。公開中のブログにて是非このHPブログについてのご意見・ご要望をお寄せください。

国営木曾三川公園(仮称)桜堤サグセンターの意見募集結果

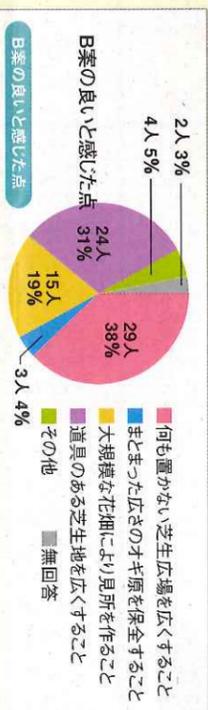
(仮称)桜堤サグセンターの整備計画について、利用者の皆様からアンケート調査を平成18年12月20日から平成19年1月28日まで実施いたしました。その結果を報告します。

調査回収件数 162件

A案 高水敷きの利用計画では、自然環境を保全することに重視している案
B案 高水敷きの利用計画では、多様なレクリエーション利用に対応した場を作る案
 この2点をお聞きしたところ下記の通りA,B案はほぼ半数という結果でした。



A案を選択した人に「何も置かない芝生広場を保全すること」と答えた人が多く、「まとまった広さのオキ原を保全すること」と答えた人が多く、



B案を選択した人は「何も置かない芝生広場を広くすること」という回答がB案を良いと感じた結果でした。



坂井 親子サークルで、子どもだけでなく母さんのためでもありますよね。

坂井 小さな子どもとお母さんたちが集まって、紙芝居やお絵描き、まづくりオモチャなどで遊ぶのが私たちのサークルです。家の中ばかりで子どもと向きあうより、「他のお母さんはこんなふうに着ているんだ」とわかるのが大きな励みになりますね。

江崎 私たちは、よさこい囃子踊りを親子で楽しんで発着することで、子どもたちの「心の成長、自分たちの踊りを地域のお祭りや福祉施設な

もーというテーマをもつて活動しています。

坂井 親子サークルで、子どもだけでなく母さんのためでもありますよね。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

江崎 親子サークルで、自分の子どもが大きくなれば卒業するものだけじゃサークルそのものは各地ですと懸念してはしませんが、坂井 本当にそう思いますね。今日はありがとうございました。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

江崎 その。私自身、子どもを通してたくさん素敵な仲間ができました。一緒に笑ったり、悩んだり怒ったり(笑)。近くに仲間がいるって、本当に心強いですよね。

交流の輪

木曾川の両岸で活動を繰り広げるこの親子サークルが、川の流れを越えてふれあいを楽しんでいます。

サークル募集!!

かわなみ通信では、「交流の輪」にご登壇いただけるサークル・団体様を募集しています。詳しくは、かわなみ通信編集部までお問い合わせください。

各務原市

「ひびりよみみんな」で子育てを楽しんでいます! (坂井)



「おちやいものくらぶ」(岐阜県各務原市)

メンバー数/親子18組ほど
 活動日/隔週金曜日の午前(徳沼康雄センター) 問合せ先/坂井みどりさん (☎056-394-2915)

一宮市

「今後は父親たちもサークルに引き込まれていますね!」(江崎)



「おちやいものくらぶ」のお子さん13歳以下がほとんど。はじめての友だちもここでできるのかな?

華龍(愛知県一宮市)

メンバー数/親子10組ほど
 活動日/第2、第4金曜日の夜(愛知生涯学習センター 西館) 問合せ先/丸藤あずみさん (☎0566-64-2388)

「おちやいものくらぶ」の活動について語り合いました。

子どもたちもお母さんも同じです。

お母さんもお母さんな仲よしです!

かわなみウオーカ

美濃路を歩く

江戸時代、中山道と東海道を結ぶ脇街道として広く使われた美濃路。その道すじに沿った2コースを紹介します。

羽島 正木・足近のコース

美濃路の宿場町、起と墨俣の間に当たるこのエリア。木曾川に面し、支流も多い地域です。当時の面影を残す史跡がコース内に点在し、「金刀比羅神社」など、川を安全に渡ろうという人々の思いがこめられたものも多くあります。

羽島の
かわなみ
ウオーカ



野田 邦男さん(右) 虫賀 勇一さん
野田さんは羽島市歴史民俗資料館の館長、虫賀さんは羽島市の文化財審議委員を務めています。「このあたりは昔は水害が多くて、地形がかなり変わっているんです。それだけに想像力が刺激されますね。昔はこうだったかな、なんて思いながら歩くと楽しいですよ。」

1 起渡船場石灯台

1770年に建てられたもの。ある夜、カ士が木曾川を渡ってきたところ、道が分からずとも戻ったため、この灯台と油代として2反の田を香進しと伝えられています。当時は今より50mほど西にありました。



2 地藏堂

衣袋持ちのお地藏まで、背後に飾られた衣裳もとても華やかです。数十年前まで、地元で良縁に恵まれた方が衣裳を寄進する風習が残っていたそうです。また地藏堂の裏手には、竹鼻道の通い路もみられます。



3 及ヶ橋の石燈明

この北にある旧・足近川(現在の掛水路)は小さな川ですが、昔はよく氾濫し被害も多かったそうです。それを防ぎ、舟の安全を祈って作られた常夜燈が、今も残っています。



4 間の宿

「間の宿」とは、将軍や大名のための休憩所。ここではちょうど起の宿と墨俣の宿のほぼ中間で、美濃路を通る諸公がひと息つく場所として賑わっていたようです。現在は個人宅ですが、重厚な門が当時の面影を偲ばせます。



一宮 萩原・起のコース

美濃路でもっとも小さな宿場町・萩原と、美濃路の中間地点に位置し、大きな発展を見せた起の宿場を歩きます。道割りには江戸の頃から変わっておらず、萩原の本陣跡などが今も商店街に残っています。昔ながらの家並みもあちこちで見られるコースです。

一宮の
かわなみ
ウオーカ



瀧 甚吉さん
史跡巡りが大好きな一宮市尾西歴史民俗資料館・館長の瀧さん。「先人の残した貴重な史跡を保存し、次の世代に引き継ぐためには、多くの方に関心を持っていただくことが大切。実際に史跡を訪ねてみると、由来や逸話を知ることでも多くあり、とても楽しいですよ。」

1 萩原の商店街

江戸時代の宿場町が、今は人々が行き来する庶民的な商店街に。みたらしなどを頬張りながら昔の旅人のように歩いています。



2 富田一里塚

塚に覆いを施した一里塚。美濃路の13カ所の一里塚のうち、道の西側の木が残り、ほぼ原形を保っているのはここだけ。全国的にも貴重です。



3 聖徳寺跡

1549年に織田信長と斎藤道三が会見した寺。道三は信長に娘の濃姫を嫁がせていて、信長が「うつけ者」かどうか確かめたと言われます。



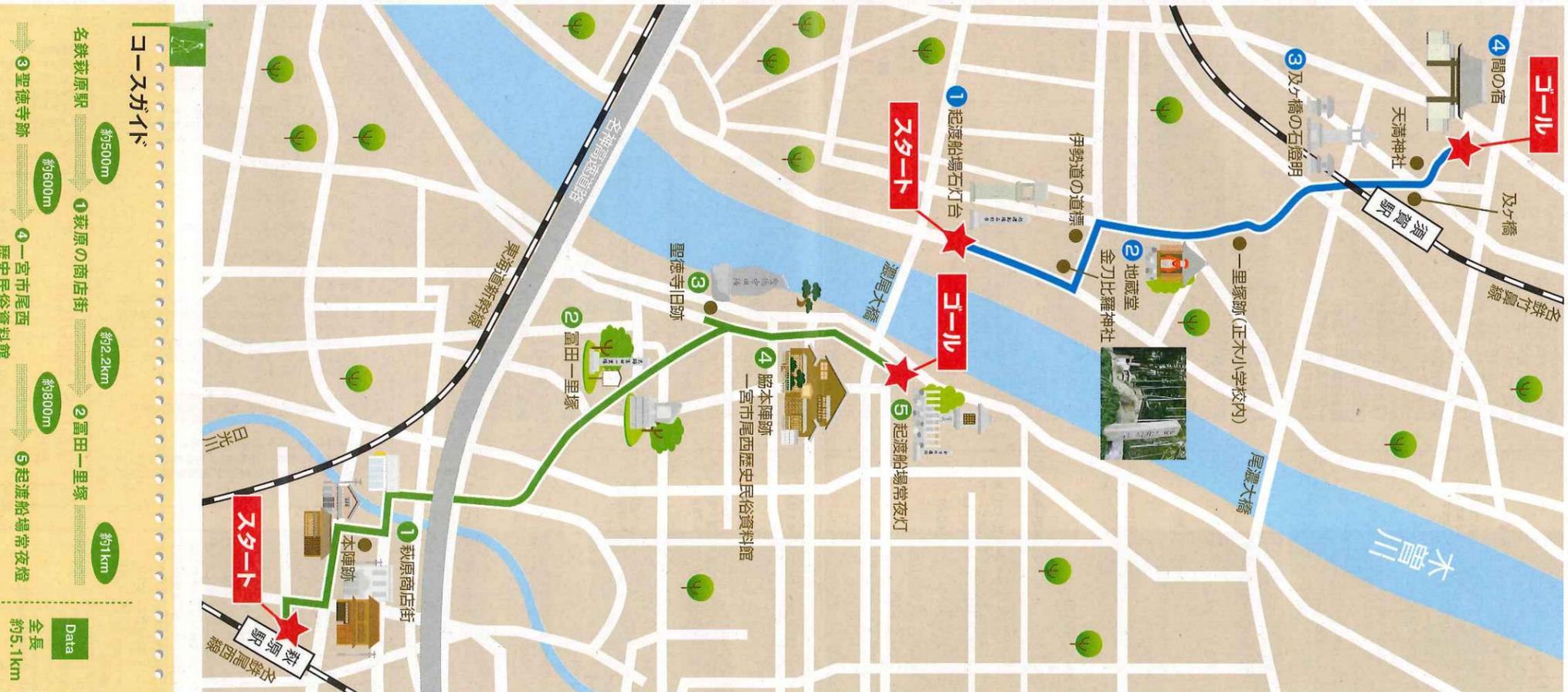
4 一宮市尾西歴史民俗資料館

起の本陣跡にあり、利将軍が木曾川を渡る時、利用した船橋の模型などを展示。江戸の町家の様式を残した別館や庭園も見えます。



5 起渡船場常夜燈

起は人や物が移動する川に架かして繁栄しました。高さ10m程の立派な常夜燈は、灯台のように木曾川を照らしたことでしよう。



かわなみエリア おすすめイベントガイド

一宮市

- 一宮桜まつり
一宮桜まつり
期前:3月25日(日)~4月10日(火)
場所:大江川緑道内外市内祭の名所...

特別展「こどもミュージアム」見て・感じて・遊んで

- 三岸節子と出会う夏!
期前:6月30日(土)~8月19日(日)
内容:「三岸節子」の作品を鑑賞し、こどもミュージアムならではの体験...

岐南町

- 岐南町歴史民俗資料館
TEL:058-247-7737
■宝物探検隊1 中世以前の岐南町物語
期前:5月13日(祝)~6月10日(日) 9:30~18:00

犬山市

- 春の犬山お城まつり
期前:4月8日(日)
内容:12年(1655年)に始まった針綱神社の祭礼が4月7日、8日に開かれます...

木曾川連携クラブ

◆健全な自然(生き生き)
「木曾川連携クラブ」は、木曾川を中心に人と情報の交流を促進し、沿川地域の活性化をめざす、企業団体有志・諸施設等からなる自由な連携ネットワークです。

- 一宮市
◆健全な自然(生き生き)
(株)アイシイ
和菓子処みやら本舗
愛知西農業協同組合

- 羽島市
(株)丸吉南商事
前田特許事務所
清酒小町・長良川蔵元

木曾川連携クラブ情報

「個人会員」募集のお知らせ
木曾川連携クラブでは、より多くの地域の人たちにご参加いただけるよう、これまで個人会員の主体の会員制度に、「個人会員」の枠を加えました。概要は右記の通りです。

平成19年3月31日現在
扶養明瞭化協力会
旭有機化学工業(株) 旭工場
大倉養蚕物産(株) 扶桑工場

木曾三川公園

イベントガイド

木曾三川公園の春のイベントを紹介
おでかけ時の参考にしてください

138タワーのスタンプグッズ

期間:4月21日(土)～5月6日(日) 場所:138タワーパーク
休園日:4月9日(月) 5月14日(月) 6月11日(月)
入館料:大人500円 小学生200円 幼児100円 65歳以上250円(要証明)

春のお花畑

内容:ネモフィラをお花をお楽しみください。
出現巨大エイのぼり
日時:4月13日(金)～5月13日(日)
内容:縦10m×横40mの巨大エイのぼりを布で作
作り、その上に縦10cm×横40cmのミニエイのぼ
りを1380匹貼せませす。ミニエイのぼりは地
元幼稚園の園児の協力で行われます。ツイン
ターチ138の展望席からの眺めは必見です!
※営業中止
大玉で遊ぼう 日時:イベント期間中の土日祝日 10:00～16:00
内容:巨大大玉で遊んでいただけます。
ミニ寄せ植えづくり 日時:4月29日(祝) ①11:00～ ②14:00～
場所:子どもの館 内容:お花を植えていただきます。
参加費:500円 定員:各回20名 当日受付先着順



昨年の1380匹の稚魚の大群集

「かぶと」をつくろう

日時:5月9日(祝)～5日(祝) ①11:00～12:00 ②13:00～14:00
場所:子どもの館 内容:お花畑を利用して紙の「かぶと」をつくります。
参加費:無料 定員:各回100名
この日の日～ツインターチ138無料ご招待
日時:5月5日(祝)
内容:この日の日にちが小学生以下の方をツインターチ138の展望席に無料で招待
します。
ツインターチ以外の展示 日時:4月21日(日)～5月6日(日)
場所:ツインターチ138の展望席 内容:折り紙で作った昆虫などの作品の展示。
ヘーバーインゼン外観教室
日時:4月21日(土)22日(日)
①10:30～11:30 ②13:00～14:00 ③14:30～15:30
定員:各回40名程度 参加費:100円(保険料)※同行される保護者も必要です。
講師:愛知県自然観察指導員協議会 受付:開始15分前より自然体験施設にて
参加:1ヶ月前の同日より電話または138タワー管理事務所まで、動きやすき服装で
参加ください。

138タワーパークの自然観察会

公園の植物について調べるよ 日時:4月14日(土) 10:00～12:00
鳥の行動を観察してみよう 日時:5月12日(土) 10:00～12:00
水中の生物について学ぼう 日時:6月 9日(土) 10:00～12:00
定員:各回40名程度 参加費:100円(保険料)※同行される保護者も必要です。
講師:愛知県自然観察指導員協議会 受付:開始15分前より自然体験施設にて
参加:1ヶ月前の同日より電話または138タワー管理事務所まで、動きやすき服装で
参加ください。

「07いちのみや」バーサライティイベント

事務局:大野薬業寺公園管理棟内
「いちのみや」バーサライティイベント「運営協議会」
TEL:0586-51-5015 TEL:0586-51-5905(開催期間中の臨時電話)
ご利用のバーサライティの催しの市民参加イベント「いちのみや」バーサライティ
イベントを今年も138タワーパークで行います。13回目の今回は、「木曾の匠の匠」
をテーマに開催。「押掛けの製作の匠」をはじめ、全国各地で珍しい「木曾の匠」
包丁一本で野菜彫刻をする「野菜彫刻の匠」、米釜師の製作を形成する「米彫刻
の匠」など優れた技の匠を紹介します。また、野外ステージでは、中学校のバドミ
ンテをはじめ、市内の太鼓グループの演奏や、「面白科学でツインターチ」展開催し
そのほか、消防体験や環境、一室の水道の紹介や、木曾川上流域の木曾の物産
展など多くのイベントが企画されています。

アクトびる世界淡水魚水族館

営業時間 9:30～18:00(最終入館17:00)
入館料:大人1400円 中学生1100円 小学生750円
幼児370円 シルバー割引1280円(証明類要)
バクチャーボックス ①11:00～ ②15:00～(各回30分程度)
日時:土日祝日開催
内容:飼育スタッフや、普段見ることのできな
い水槽の裏側や、水産師の仕組みをわり
やすく説明いたします。
申込方法:①②とも実施日9:30から、1F
ツインターチで実施日10名様
※生き物の体観にお内容を変更する場
合があります。※入館料のみで参加可
「フエーティンクオツチ」「ボイントガイド」
内容:生き物たちがエサを食べる様子をご覧いただけます。また、飼育スタッフから
生き物たちの変わった習性などの詳しい説明を聞くことができます。
ツインクオツチ
かワオルニアツチの「ツイン」によるツチカスター
1日4回実施(各回約10分～15分)、土日祝日は1日5回実施。
※ツチカの内容が短いときや天候により中止のときがあります。また、満員の場合は、入場
制限させていただきます。
特別企画展「イダ不思議発見」
期間:～5月14日(月)
内容:体色や遊泳、形態の違い、繁殖期に現れる輝彩色、性格異なる魚、他魚種
の捕食で繁殖する魚などの、魚のオスミスについての見学やツチカを通して紹介
します。



バクチャーボックス

公共交通機関

138タワーパークへ
名鉄「名鉄一宮駅」JR「尾張一宮駅」より名鉄バスツインターチ138行
きが便利です。なお、バス利用者はツインターチ138が2割引となります。

「河川環境楽園」
名鉄「名鉄岐阜駅」より岐阜バス川島松倉行き「川島松田」下車
徒歩約15分、土日祝日には「河川環境楽園」へ直接乗り入れる便あり。
JR「那加駅」名鉄「新那加駅」からコミュニティバスがあります。

各施設の問合せ先

ツチカトびる 岐阜県世界淡水魚園水族館 TEL:0586-89-8200
河川環境楽園 自然発見館 TEL:0586-89-7022
138タワーパーク TEL:0586-51-7105



この印刷物は環境に配慮して古紙100%の再生紙と大豆インキを使用しています。

河川環境楽園 春の楽園祭

期間:4月28日(土)～5月6日(日) 場所:河川環境楽園 木舟遊覧 期間:～11月4日(日) 10:00～16:00 毎日運行 1人200円

河川環境楽園 自然発見館のネイチャーイベント

ネイチャーイベントは、子供から大人まで「楽しみながら学ぶ」をモットーに、楽園で見られる自然現象を題材にして「見る・聞く・触る・作る・描く・考える」などの体験をする「環境プロジェクト」です。各プロジェクトは、事前申込制です。電話または直接、自然発見館カウンターにお申込みください。(定員:各回30名)
木の輪切りのペンダントづくり
日時:4月 1日(日) 14:00～15:00
6月23日(土) 13:00～14:00
参加費:400円 対象6歳以上
草染めボストカードづくり
日時:4月1日(日) 13:00～14:00
6月9日(土) 13:00～14:00
参加費:200円 対象4歳以上
小枝のボートレースづくり
日時:4月 7日(土) 13:00～14:00
5月12日(土) 14:00～15:00
6月23日(土) 14:00～15:00
参加費:400円 対象6歳以上
自然観察ビンゴ
日時:4月8日(日) 13:00～14:00
参加費:200円 対象4歳以上(雨天中止)
小枝の手立てづくり
日時:4月8日(日) 14:00～15:00
参加費:300円 対象6歳以上
パークロープづくり
日時:4月28日(土) 13:00～14:00
5月26日(土) 14:00～15:00
6月30日(土) 14:00～15:00
参加費:400円 対象6歳以上
驚ろくづくり
日時:5月3日(祝)～6日(日) 10:00～16:00
参加費:300円
草染め麗のぼりづくり
日時:5月5日(祝) 4日(祝) 11:00～15:00
参加費:300円
生き物コースターづくり
日時:5月5日(祝) 6日(日) 10:00～16:00
参加費:300円
スライムづくり
日時:5月12日(日) 13:00～14:00
5月27日(土) 11:00～15:00
6月24日(日) 13:00～16:00
参加費:200円 対象4歳以上
驚ろくづくり
日時:5月3日(祝)～6日(日) 10:00～16:00
参加費:300円
草染め麗のぼりづくり
日時:5月5日(祝) 4日(祝) 11:00～15:00
参加費:300円
生き物コースターづくり
日時:5月5日(祝) 6日(日) 10:00～16:00
参加費:300円
スライムづくり
日時:5月12日(日) 13:00～14:00
5月27日(土) 11:00～15:00
6月24日(日) 13:00～16:00
参加費:200円 対象4歳以上

河川環境楽園 春のおもしろ工房

ろくさんのおもしろ工房(新館)
日時:5月5日(祝) 6日(日) 11:00～15:00
参加費:300円(よ)
川島山野草作品展&寄せ植え教室(新館)
日時:5月3日(祝) 4日(祝) 9:30～16:00
参加費:寄せ植え体験教室1500円
誰でもできるツインターチ(農家)
日時:5月26日(土) 10:00～16:00
参加費:400円
ろくさん
さいとうおさん石のババ作り(農家)
日時:5月12日(土) 27日(日) 10:30～15:00
参加費:250円(2回)
さいとうおさんの私だけのボスカード作り(農家)
日時:5月1日(火) 2日(水) 7日(月) 9日(水)～11日(金) 15日(火) 16日(水) 22日(火)～24日(木) 10:30～15:00
参加費:250円(2回)
押し花&山草染め&ガラスアート体験教室(農家)
日時:5月13日(日) 10:00～16:00
参加費:250円
はじめての絵手紙(新館)
日時:5月13日(日) 26日(土) 11:00～16:00
参加費:200円
手作りのババ作り(農家)
日時:5月20日(日) 11:00～16:00
参加費:1500円(よ)
的当てエプロン作り(新館)
日時:5月6日(日) 10:00～16:00
参加費:700円(よ)
親子で楽しむ陶芸教室(新館)
日時:5月19日(土) 13:00～15:00
参加費:大人1500円 子供1000円(事前予約要・定員2名)
親子でバズルを作ろう!(新館)
日時:5月13日(日) 13:00～15:00
参加費:800円(当日先着順・定員8組)
ミニ押花の小物作り(新館)
日時:5月12日(土) 26日(土) 11:00～15:00
参加費:200円(よ)

「もくバラ倶楽部」倶楽部員新規募集の案内

138タワーパークでは新規部員を今回募集いたします。これまでの活動では部員自身が自然と触れ合い、楽しい活動や、自分の特技やここで学んだことをお客様に提供する活動、またもくバラダイズをより良い環境にするための管理活動を中心におこなってきました。
19年度の活動内容については、部員による総会で決定された活動を行います。予定(案)としては、子供たちが大好きなカフトムシを題材にした、「カフトムシが育つ環境づくり」や「カフトムシのエサづくり」、また「ホタルが育つ池をみんなで作ろう」といった提案を現在部員の皆様よりいただいております。
申込資格
自然や昆虫、水辺の生き物が好きで、ボランティアとしてももくバラダイズの環境づくり、育て守っていききたい方であれば年齢に制限はありません。
なお、年会費は無料ですが、ボランティア保険料として1年21名につき200円が必要です。
募集人数 100名程度(定員を超えた場合には抽選により決定します)
申込方法 ハガキまたはFAXにて、ボランティア活動に参加される方の住所、氏名、年齢、電話番号と参加したい簡単な動機を明記し、下記宛に郵送、送信して下さい。
〒491-0135 愛知県一宮市光明寺字浦崎21番地3
138タワーパーク管理事務所内「もくバラ倶楽部係」
FAX:0586-51-7107
申込期限 平成19年4月30日まで(当日消印有効)
お問い合わせ 138タワーパーク管理事務所
TEL:0586-51-7105

トンボ大好き!! Vol.4 ギンヤン

もし、ギンヤンがいないから...。ツールのヤゴを助ける活動も、拙書「ゆうすけとギンヤン」も...。私が目指す「トンボを通じた環境を考える活動」はあかたてしよう。数年前、観察のために、ギンヤンを捕まえてみました。少年時代に聞いた話?で、一発で網の中に収め、ひとりでニヤリ。しかし、捕まえてみて驚きました。すいぶんそのからだがいささかです。「ギンヤンではもともと大きかったはずだ...?」その疑問はすぐに解決しました。小学校1年の、あの夏の日。持ちきれないほどギンヤンを捕まえてしまっただけの日。「そうか、あの時は、ぼくの手が小さかったんだ!」久しぶりに思いだした羽ばたきの音や風、逃げようとして動く、もそもそとした感じ。子どものころは、かみつけられそうだった大きなあの動き。エマルビロウソンの美しい眼の輝き。そして捕まえたときのときめき。すべて、変わっていません。変わったのは、ギンヤンが飛ぶ豊かな自然が減ってしまったこと。もうくもくバラダイズには、大きなトンボ池を2つ造りました。もうすぐ、羽化が始まります。ぜひ、美しいギンヤンを見に来てください。そして、トンボが飛ぶ自然の大切さ、すばらしさを感じてください。



ツールから助けたヤゴの羽化

文・写真とも 牛山正人(うしやま ますひと)

1956年生まれ。江南市在住。環境省環境教育センター「プロフェー」
138タワーパーク「もくバラ倶楽部」代表(本欄は県立高校教諭)。トンボ池の減少に危機感をもち、97年頃から地元小学校で始めた「ツールのヤゴ救出作戦」を地域に広げる。また児童書の出版「素とんぼツイン」の開催など、多様な環境教育活動を実践中。